



41

創立：1984.7.10／証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモンテレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分／例会場：ホテルモンテレ ラ・スール大阪

会長：吉羽 潤司／幹事：中森 恭平／SAA：稲垣 良二

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーの
マジック

本日の例会

〈第1838回〉 2024年8月20日(火) 本年度第6回

卓話

クラブフォーラム
社会奉仕部門

担当：水間会員

●ロータリーソング
限りなき道ロータリー

●ランチタイムミュージック

次回の例会

8月27日(火)

次回卓話

大橋秀典ガバナー公式訪問

前回の報告

会長インフォメーション PRESIDENT INFORMATION

会長：吉羽 潤司

夏になりましたが、暑いですね。ここ数年の猛暑ぶりは激しくなる一方ですが、将来落ち着く事はあるのでしょうか？

私は人類も所詮動物の一種であり、理性で人類が一致協力して温暖化を食い止めることはできないだろうと推測しています。では温暖化が進むとどうなるでしょう？

高緯度の国で穀物が生産できるようになります。それは専制国家です。また海拔上昇等から消滅の危機を迎える国があるでしょうが、その支援を巡って民主主義国家と専制国家の衝突が増えるでしょう。それ以外の石油資源のない国でも暑さから国民の命を守ることにさへ難しくなるのではないのでしょうか。

では日本は、我々はどうしていくべきでしょうか？

一番は、エネルギー問題の切り札となる核融合技術の実現に総力を挙げるべきです。また放射冷却などの新技術の開発、社会実装も急ぎたいです。

政策としては何よりエネルギー消費を抑え、エネルギー効率を上げるべく、現在の石油資源への補助金は止め、公共交通機

関にこそ支援金を出し、利便性も上げるべきです。バスを含む自動車の電動化を進める事、建物のサッシの樹脂化、木製化を進めることもエネルギー効率化に繋がります。個人レベルでできる行動は限られますが、夏場に熱いお風呂は要りますか？ガスの主電源から切りましょう。家や車への日差しを徹底的に遮る（そうした商品開発も望まれる）といった事は無理なく高い効果が望めるでしょう。

細かい話になりましたが、その位の危機感を感じています。進む現実に対して何ら対応策が施されていない現状を皆様はいかがお考えでしょうか？



会員増強・新クラブ結成推進月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「Refine より良いクラブへ」

みなさまこんにちは！幹事の中森です。

本日8月6日は広島に原爆が投下された日であります。今朝、登校日の子供たちを見送り、車に乗るとちょうど8時15分でありました。NHKラジオから流れる黙祷の合図とセミの声を聞きながら、当時を想像してみると何とも言えない気持ちになりました。心から平和を願います。



本日はガバナー補佐の岡田様、ガバナー補佐エレクトの佐藤様をお招きしてのクラブアッセンブリーを予定しております。岡田さま、佐藤さま、宜しくお願いします。

また、寝屋川RCの石橋さま、森川さま、ようこそお越しいただきました。楽しんでお過ごし頂ければ幸いです。

それでは皆様、本日も宜しくお願いします。



在籍表彰

😊 NIKONIKO箱 😊

¥14,000.-

累計 ¥108,000.-

- 秀島 会員 お暑うございます
配信した天神祭花火のVRごらん頂きましたでしょうか？今日はこれから逗子のマリーナでロータリーパッチもつげず、失礼します。
- 稲垣 会員 オリンピック悔しいゲームが多いですね
日本頑張れ！
- 水間 会員 岡田光司ガバナー補佐 佐藤多加志ガバナー補佐エレクトようこそいらっしゃいました。
ご指導の程 宜しくお願い申し上げます。
- 中村 会員 岡田ガバナー補佐の御来訪を歓迎致します。
御指導 よろしく御願い致します。
- 田中(信) 会員 岡田ガバナー補佐、佐藤ガバナー補佐エレクト、他2名の来訪歓迎致します
本日、広島原爆投下の日で黙禱と同時に平和を祈願致します。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥8,000.-

累計 ¥39,000.-

- 水間 会員 どうも 33年間も鶴見ロータリークラブでお世話になったようです嬉しいやら悲しいやらです
何ももらえなくて悲しいです
- 田中(信) 会員 鶴見ロータリークラブ創設以来40年間皆出席を続けさせて頂いております 皆様の御協力に感謝致します
これからもよろしく御願い致します

卓話

岡田ガバナー補佐訪問 第2回 クラブアッセンブリー



● 会長

吉羽 潤司

今年度に創立40周年を迎える当クラブですが、10年後も元気に生き残っているクラブとなるためには、より楽しい親睦、より意義のある奉仕活動をしているクラブであることが求められると思いますが、それらを実現、もしくはきっかけ作りとなる年度にしていきたいと思っております。奉仕活動では、40周年も踏まえて日本語作文コンクールをブラッシュアップする機会としたい。親睦では、夜例会をできるだけ他クラブとの交流の場としたい。また鶴見区民祭りやクリスマス家族会を家族も楽しめる場としたい。40周年記念では、提携先の台湾華朋RCにより楽しんで頂けるように万博開催中に式典を開催してはどうかと思っております。

● 幹事

現在、会員数25名、休止会員1名、15の委員会を運営しております。どこのクラブも同じ悩みを抱えておられる事と存じますが会員数の減少と対峙しながら、新規会員をどう増やしていくかの日々であります。

本年、吉羽年度は大阪鶴見ロータリークラブは40周年を迎えまし

た。鶴見区も区政50周年の年になります。大阪万博とうまく重ねながらまたない会員獲得のチャンス、取りこぼしの無いよう運営していきたいと存じます。

● 会計

鳥居 和久

昨年度の決算は、会計監査がまだ未確定ですが、約50万円の赤字です。次年度繰越金が約810万円で前年度繰越金の約860万円から約50万円目減りしています。25人の会員で50万円の赤字ですから一人当たり2万円の赤字ということになります。行事等が昨年度特別に増えたということもないので、本年度も同様の赤字が見込まれます。支出を少なくするために、行事や事業をこれ以上減らすと、クラブの魅力もそれだけ低下します。収入を確保するためには、会費の値上げか、少なくとも3名以上の会員増が必要になります。そうでなければ、魅力ある事業もできないし、いままで通りの事業さえも継続できなくなるのではないかと会計として危惧しています。

● SAA

稲垣 良二

本日で今年度5回目の例会。内2回の夜例会を開催しました。特にトラブルもなく、順調に開催できているかと思います。また会長のご意向もあり、席をくじ引きとし、メンバーの懇親活性化を図っています。SAA司会進行マニュアルの見直しは完了しました。今後もSAA不在の例会とならないように、連携して参ります。

● クラブ奉仕委員会

濃添 敬造

クラブ奉仕部門の大きな課題としては、ロータリー精神の基盤の元、会員の拡充と会員間の交流にあります。会員拡充につきましては、全会員が一人ひとり新会員の拡充に取り組んでいただくことが肝要ではありますが、どんな勧誘ポイントがあるのかが大事です。例会をはじめとした会員交流の場がセールスポイントなればそれが第一だと思いますが、それは会員になって月日が経ってからわかるもので、入会の前には難しいでしょう。やはり当クラブがどんな活動を展開しているかということが、PRポイントになるはずで、当クラブの現在のメイン事業は二つあります。鶴見緑地での鶴見区民祭りへのブース参加と、日本語学校との連携による留学生日本語作文コンクールの主催です。

これらをさらに発展させること、あるいはそのほかの新しい活動を考察・企画するなど、当クラブの魅力づくりこそが、会員の交流や会員拡充のための土台となると考えます。

今後の事業の礎となるアイデアを、みんなで考えていきたいと思えます。

● 出席・親睦委員会

小栗 隆

活動方針のとおり、例会の出席率が向上するように努めてまいります。又、各イベントの参加人員増にも努力します。日帰り旅行なども実施し親睦を深める機会を多くできればと考えています。

● 会員増強委員会

津野 友邦

- I. 活動報告 現状、活動は特にありません。
- II. 活動予定 40周年を機に会員が自然と増えるような仕組み作りをしたいと考えています

● 広報・IT・会報・雑誌委員会

源 壽美子

濃添委員長の実施で 前年度より毎週の週報がサイト掲載となりま

したが、イベントの記事など画像も加えて掲載していますので各自ご確認いただきますようお願いいたします。例会スケジュールもTOPページにございます。

今年度は、広報の一環も兼ねてSNSの導入を検討しましたが、高頻度での更新、適切な内容の精査などを考えると、現状少々ハードルが高いように思いましたので、地区サイトへの投稿からはじめ情報発信できればと思います。

雑誌に関しましては、「ロータリーの友」を購読していただいているので毎月読んでもらうようPRし、興味ある記事を適宜紹介します。

その他、月信もデータ化しておりますがご紹介する機会を設けていきたいと思えます。

● 規定・職業分類・会員選考・ロータリー情報委員会 山崎 修一

今年度の計画はアッセンブリー報告書に記載されているとおりで追加はありませんが、ロータリー情報委員会との関連で、最近感じていることを一つ申し上げます。それは、ロータリーの「歴史」を知ることの重要性です。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」とは、有名なビスマルクの言葉ですが、昨年源前会長が会長インフォメーションでお話されたことは大変貴重だったと思えます。

たとえば、地区で「国際・社会奉仕委員会」と二つの委員会が一緒になっている理由はなぜか、確たる理由はわかりませんが、歴史を紐解くと1967年から2011年までWCS(世界社会奉仕)という人道的国際奉仕活動がありました。これは国際奉仕という枠組みの中で、特定の地域に対して奉仕活動を行うもので、現在は、未来の夢計画(FVP)に移行されています。

大阪鶴見ロータリーも40年の歴史を積み重ねてきました。あらためてその足取りを振り返り、強みを認識しつつ次世代の奉仕活動に繋げていく必要があると感じます。

● 職業奉仕委員会

山本 隆一

◎活動方針

地区研修・協議会の職業奉仕部門において、ロータリーの基本として以下の指導があった。

- ・ロータリーは奉仕する人を育てる団体
- ・他団体にはないロータリー固有の考え方「職業を通して奉仕する」
- ・職業奉仕はロータリーの金看板

上記理念を当クラブの会員の皆さん、とりわけ、新入会員の皆さんに少しでも理解してもらおう。

◎活動計画

昨今では職業奉仕の捉え方も多様化しているが、ロータリーには、創設以来、職業奉仕の理念を基軸とし、他の社会奉仕団体とは異なる

(4Pへ続く)

出席報告

8月6日【1837回】

会員数	26名	ビジター	2名
(内出席規定免除)	8名	ゲスト	2名
出席会員	17名中 10名	出席総数	18名
出席免除会員	8名中 4名	前々回	M/U 0名
休止会員	1名	修正出席率	7月23日 77.27%
出席率	66.67%		

担当:秀島会員

(3Pから)

アプローチで倫理運動を実践してきた歴史がある。この歴史がロータリーの原点であり、元々の姿を知ること、ロータリーと他の団体との基本的な違いを知ることが、「何のためにロータリーに在籍するのか」を理解する上で一つのポイントになると思う。今年度のクラブフォーラムは、地区研修・協議会の教えをできる限り簡潔明瞭に伝達する、この点に主眼を置いて実施したいと思う。

● 社会奉仕委員会

水間 頼孝

◎活動方針

ロータリークラブの重要な委員会活動として、特に地域社会の皆さんと触れ合える活動をしたいと思っています。そして、鶴見ロータリークラブの名前と存在を多くの方に知ってもらいたいと考えています。

◎活動計画

①10月6日(日)開催の鶴見区民祭りに参加をします。昨年大好評でした金魚すくいを大和郡山市とともに行いたいと思っています。しかし、ポリオ基金の募金活動も行っているため、金魚すくいの担当者に交代時間が取れず大変しんどい思いをしたので、今年は会員の全員参加、できればご家族のご参加などを仰いで、楽しい、盛大な金魚すくいをしたいと考えています。

②その他、国際交流の集い、鶴見市役所と提携してのさつまいもプロジェクト、アーモンドの森植樹などが過去の社会奉仕委員会の活動としてあったのですが、現在は特に活動対象とはなっておりませんので、これらを含め何かできないかを模索していきたいと思っています。

● 国際奉仕委員会

津野 友邦

I. 活動報告

現状、活動は特にありません。

II. 活動予定

・国際奉仕委員会と長期計画委員会、国際交流基金運営委員会の3委員会合同委員会を継続する

・台湾姉妹クラブとの友好関係の維持・発展するため来年5月に訪問予定。

・40周年との連携を図り台湾姉妹クラブの来日の準備を進める。

● R財団委員会

小栗 隆

年次基金寄付は例会時に皆様をお願いしていきます。

ベネファクター1000ドルを会長にお願いします。

● 米山奨学委員会

中村 浩一

7月27日米山奨学委員長、カウンセラー研修会に出席致しました。

昨年に引き続き委員長を拝命いたしました。今期は入会新しい会員にも米山奨学会の目的と意義に関して理解を頂き、地区そしてクラブの目標とする寄付額を達成したいと思う。今期も昨年同様目標額を3万円に設定。会員にはロータリー米山奨学事業豆辞典が配布されていますので、読んで頂けばその重要性、活動内容が理解いただけると思う。しかし米山へのご寄附をお願いしても在席の長い会員は分かっていただけのが、入会新しい会員には理解して頂くのが難しいのが現状である。一昨年までは多額の寄付をされる会員が存在した為、目標額は問題なくクリアしていた。しかしその寄付者が退会されたため昨年はみんなに協力をお願いしたが、個人寄付は53.8%でした。個人平均寄付額は16,653円で地区でも下位となりました。今期は地区の委員会に卓話、動画等をお願いして何とか会員の皆さんに協力いただけるような

体制をとりたいたいと考える。米山奨学事業がロータリー会員の奉仕活動としての奨学事業であり、ロータリーが目指す国際理解と親善、世界平和に寄与する事業であること、ロータリアンの寄付がその財源であることを理解して頂きたいと思う。過去には13名の奨学生をサポートした経緯があるが2017年から会員の減少もあり、サポートは途絶えている。今期は何とか目標額達成の為、皆さんの協力をお願いしたい。

● 青少年奉仕委員会

小栗 隆

青少年交換プログラムを例会で紹介し、受け入れを推進していくと申しましたが、なかなか難しいと理解し始めました。8月31日の合同委員長会議で勉強し方針を修正したいと思います。

● 国際交流基金運営委員会

秀島 博規

◎活動方針

国際交流基金のメイン事業である日本語作文コンクールは、1994年にスタートし当クラブの歴史を体する事業であり、今年度は第31回になる。前年度からの懸案事項に沿って賞金額をコロナ以前に戻すと共に、国際交流基金を活用する新規事業も検討したい。

◎活動計画

一昨年度～昨年度においては賞金額を減額したが、本年度はコロナ前の金額に戻すことが理事会で決定された。その理由は、①昨年度の寄付が増え、ぎりぎりながら基金取崩し無く事業費を賄える水準(寄付額は一昨年度分11万3千円→昨年度分19万8千円→本年度分33万円)、②留学生の数が一昨年度80名から作年度は100名、今年度は130名とコロナ以前に戻っている、ため。

作文の採点は昨年度同様、会員全員をお願いする予定。また10月1日の例会にて、最優秀賞と優秀賞の最終審査を行う予定もある。

◎実施日程

- 7月2日(火) 理事会 募集要項を決定済(日程・賞金等)
- 7月上旬 磯田先生へ連絡、打合せ済
- 7月中旬 日本語教育センターの夏休みに合わせて作文募集
- 8月末 大阪鶴見ロータリークラブに日本語教育センターより作文受領
- 9月 大阪鶴見ロータリー会員で作文審査(会員全員参加による審査)
- 10月1日(火) 各会員からの作文審査表提出締切り
- 10月8日(火) 例会にて審査結果を決定。磯田先生に報告
- 10月22日(火) 優秀作文表彰式(日本語教育センターにて)
*15時から授業参観、16時過ぎから表彰式

◎お願い

作文の採点および表彰式に積極的にご参加頂きたい。

本年度の寄付が来年度の予算原資になるので、来年度に繋げるために奮ってご寄付をお願いしたい。

● 特別事業長期計画委員会

須田 幸史朗

濃添クラブ奉仕委員長の報告でもご指摘がありました、鶴見ロータリークラブが毎年行っている留学生作文コンクールがありますが、特に優秀賞を受賞している作文の内容は素晴らしい作品が多く、これを色々な所でも読まれるべきだと考え、鶴見区の中学校、高校などでも読まれるよう働きかけていこうと思っています。